



# ふじみだい

## 子どもの言葉を大切に

校長 山本 加奈代

連日「熱中症」が心配される猛暑が続いた 38 日間の夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。

この休みに、各地域の盆踊りやお神輿などの夏祭りに行ってきました。どの町内にも子どもたちが集まり、地域の方や家族と一緒に盆踊りを踊ったり、買い物をしたりして楽しい時間を過ごしていました。祭礼への参加は、子どもたちに世代を超えたさまざまなふれ合いを経験させてくれます。このような機会を継続して下さっている各地域の皆様には、改めて感謝申し上げます。これらの経験を通して、子どもたちが地域を思う心を育み、さらに成長してくれることを願っています。

さて、先日、教育関係者の講演会で『スーホの白い馬』の絵本を描いた画家「赤羽末吉(1910-1990)」のお話を聞きました。2年生国語の教科書にも載っているこの本は、1967年に初版が出て以来、52年間、日本以外にも、中国、韓国、台湾、アメリカ、フランス、フィンランド、パキスタンと、世界の子どもたちに読み継がれてミリオンセラーとなっている絵本です。赤羽さんは、絵本を通じて未来を託す子どもを楽しませ、心を豊かに育てること、それは平和な未来を生み出すことに通じると固く信じていたそうです。

「スーホは、白馬をととても大切に思ってそっと抱いているのだね。」と、スーホの指先まで読み取ってくれた子どもの言葉に、未来をつくる子どもの大きな力を感じたそうです。絵本は子どもが会う初めての芸術作品だからこそ、一つ一つの描写に込められた思いが、小さな子どもたちにもしっかりと伝わるのだと思いました。私たち大人も、子ども一人ひとりの言葉に、声にていねいに向き合い、子どもの思いを大切にしながら、安心して学校生活を送れるようにしたいです。

夏休み後、各教室では子どもたちからの夏休みの報告が聞かれ、充実した様子が伝わってきます。この残暑に負けずに、夏休み中の体験や頑張りで得た成果を十分に生かして、よいスタートを切りたいものです。

早いもので 前期終了まで約一か月です。学校生活のリズムを取り戻して、前期の締めくくりに向けて取り組んでいきたいです。引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。